

平成27年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める 「ファミリーキャンプ」

- 1 趣 旨 自然体験活動を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成27年7月18日(土)～19日(日) 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族(60人程度)
- 5 参 加 者 13家族, 55人
(応募者: 37家族, 132名)
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日程と主な活動



時 刻	7月18日(土)	時刻	7月19日(日)
14:00	受付	6:00	起床・テント撤収
14:30	出合いのつどい	7:30	野外炊飯(カートンドック)
15:00	テント設営	8:30	更衣
		9:00	海浜活動(ゴムボート)
16:30	野外炊飯(バーベキュー)	11:00	シャワー
20:00 ～ 21:30	シャワー ナイトシアター 花火	11:30	別れのつどい・解散
22:00	就寝		

8 事業運営について

今回は、「テント設営・撤収」「テント泊」「野外炊飯」「海浜活動」などアウトドアを中心に、海浜施設で実施した。自然のすばらしさや家族で協力して活動することの良さに気付かせ、家族の絆をさらに深められるように計画した。

9 事業の実際

(1) テント設営・撤収

テント設営は、家族全員で協力して設営してもらった。経験がある家族もあれば、全く初めての家族もあり、うまくできない所は家族間で協力して設営する姿も見られ、交流を図る良い機会となった。

初めて自分たちで設営したテントに、子供たちは大喜びだった。夜に雨が降ってきて、雨水がテントに入ってくるハプニングもあったが、参加者からはそれも自然の摂理で、良い経験になったという感想もあった。



(2) 野外炊飯

野外炊飯は夕食にバーベキュー、朝食にカートンドックを実施した。バーベキューでは家族で協力しながら炊飯での薪割りや炭の火付けにチャレンジ。なかなか付かない火に悪戦苦闘しながらも最後には家族でバーベキューを楽しんだ。朝食のカートンドックは簡単にできる内容で、小さな子供たちも朝食作りにチャレンジできた。自分で作ったカートンドックはとても美味しかったらしく、みんな満足していた。



(3) ふれあい活動

ふれあい活動では、屋外に設営したスクリーンを使ってナイトシアターや花火大会を実施した。ナイトシアターでは、野外に設営された大きなスクリーンに子どもたちも驚き、仲良く楽しむ姿が見られた。また、花火大会では家族で楽しいひと時を過ごすことができた。



(4) ゴムボート体験

海浜活動はゴムボート体験を実施した。みんなの息が一つにならないとなかなか進まないの、苦労する場面もあったが、親子であるいは家族間で声を出し合いながら協力して漕ぐ姿が見られた。普段あまり体験できない海浜活動に、参加者からはとても楽しかったという感想をたくさんいただいた。



10 成果

テント設営や野外炊飯、ゴムボート体験など家族で協力しながら取り組む活動を通して、さらに絆を深めることができた。また、家族間の交流も図ることができた。

参加者からは、「内容も充実していて、夏休み最初に最高の思い出ができました」「久しぶりに親子でいっしょにテントで寝ることができ嬉しかった」「海でのキャンプ、親子ともに大満足でした」などといった感想が寄せられた。

